

まちのわだいい

詐欺水際阻止で感謝状

■ファミリーマート伯耆溝口店

11月8日（火）、高額当選金の受取手数料名目の詐欺を未然に防止したとして、黒坂警察署長からファミリーマート伯耆溝口店に感謝状が贈られました。受け取ったのは、店長の島崎さんと当時初期対応をした店員の遠藤さんです。

10月24日、当時レジにいた遠藤さんに対し、70代の女性が「電子マネーを支払いたいがどうしたらよいか」と相談。女性の話を聞き取り、スマートフォンのメッセージの内容などを不審に思った遠藤さんが、店長の島崎さんと警察署へ行くよう強く促し、詐欺を未然に防ぎました。

■八郷郵便局 森章行さん

11月21日（月）、還付金詐欺を水際阻止したとして、同署長から八郷郵便局勤務の森さんへ感謝状が贈られました。

11月8日、森さんは「どうやって操作するかいな」と携帯電話で話しながらATMを操作する70代男性の姿を見かけ、詐欺を疑い、声を掛けました。男性に事情を聞くと、保険料の還付金があるとの電話に指示されるがままATMへ来たことが分かり、その場で男性を説得し、警察へ通報するなどして還付金詐欺を水際阻止しました。



感謝状を受け取る森さん



遠藤さん(左)と島崎さん(中央)

文化的風土の定着を目指して

〜第18回伯耆町美術展〜

第18回伯耆町美術展を11月12日（土）から14日（月）まで溝口公民館で開催しました。この美術展は、広く町民から美術作品を募り、優れた作品を展示することによって、美術、文化の振興に寄与することを目的としています。

今回の美術展では、一般作品が49点、特別展示が10点、児童生徒作品が127点の計186点の出品があり、3日間で421人が来場しました。

特別展示では、伯耆町古市出身の前田進氏の洋画遺作展が行われました。12日の開会式後には、ご子息の前田真氏や鳥取県美術家協会会長の加藤哲英氏によるギャラリートークがあり、多くの町民が作品鑑賞を楽しんでいました。



前田進氏の作品を来場者それぞれに味わいました

人権尊重のまちづくりに向けて

〜伯耆町人権フォーラム2022〜

「人権尊重のまちづくりに向けて、研究と実践で交流しよう!」というテーマで、12月4日（日）、鬼の館ホールで人権フォーラム2022（第17回伯耆町人権・同問題実践研究交流会）を開催しました。

フォーラムでは、人権啓発標語入選者の表彰や中学生による人権作文の発表、町社会福祉協議会での職員研修や溝口小学校における人権教育の実践報告などを行いました。

そして、大阪府在住の田中一歩さんと近藤孝子さん（にじいろアイル）のお二人に、「性の多様性から『じぶん』について考える」という演題でご講演をいただきました。

子どもから大人まで幅広い世代の参加者が、田中さんと近藤さんの感動的なお話を聴き、差別のない明るく住みよいまちづくりの大切さを共有しました。



人権啓発標語受賞者のみなさん